



# 本町小だより

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-honchou/>

1月号 令和7年1月8日  
西東京市立本町小学校  
校長 高橋 浩一  
TEL 042-467-5956

## 本町小スポーツの日アンケート回答

校長 高橋 浩一

新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。さて昨年行われた本町小スポーツの日の保護者アンケートでは多くのご意見をいただきました。すべてにご回答することは難しいのですが、ご要望と思われるところを集約いたしまして、本校の実態をふまえた次年度の指針を回答として以下の通り、お示しいたします。保護者の皆様におかれましては、すべてが納得いくものではないとお感じになるかと思いますが、児童や本校の実態、学習としての意義、教職員の働き方改革の観点からご理解を賜りたいと存じます。よろしくお願ひいたします。



### Q1 中止のときだけメール配信ではなく、実施のときもその旨メールがあるとよい。

#### A 次年度は「延期、中止、実施、1時間遅れ」など何かしらのメールを7:30に発出することにします。

今までは「延期、中止」の場合のみ6:30にメール発出としていました。そのルールですと前日から良い天候が続き、天気予報からも延期、中止の心配がないとなった場合は、メールを発出する必要がありませんので、教職員の出勤時刻は7:30で済んでいました。

逆に天候不順の場合、保護者の方のお弁当作りに配慮してメールを出すために一部教職員は、通常の出勤時刻8:10より100分も早い6:30に出勤することとしていました。6:30という時刻ならば、保護者の方が、お弁当を作らなくて済むギリギリの時刻であると考えていたからです。

つまり、保護者の方のお弁当作りに配慮してメールを出すために一部教職員は、通常の出勤時刻8:10より100分も早く出勤することとし、その代り、明らかに天候の心配がなくメールを出す必要がないのなら、一部教職員は出勤時刻8:10より40分だけ早い出勤でご勘弁してほしいとの考えでした。

しかし、この「延期、中止」の場合のみ6:30にメール発出のままですと、今年度のような微妙な天候の場合、6:30の段階で延期、中止、実施、1時間遅れなどの判断が難しく、また一部教職員は延期、中止なのに100分も早い出勤となってしまいます。

よって次年度は「延期、中止、実施、1時間遅れ」など何かしらのメールを、児童が自宅から出発する時刻ギリギリの7:30に発出することとして、微妙な天候の際の判断をギリギリまで引き延ばし、一部教職員の100分も早い出勤を無くすことにします。この変更により、お弁当作りを行わなくて済むといった配慮ができなくなることをご了承ください。

### Q2 雨天の時は無理せず、延期にしたほうがよい。風邪をひいてしまわないか心配。

児童席の足元がぐちゃぐちゃでかわいそうだった。

A 今年度のように天気予報によると天候が回復傾向にあるが霧雨、または雨があがったとしても児童席の状態が悪いなどの状況に対応するため、延期、中止、実施の判断を7:30とします。土日の開催に向けて最善の努力をしますが、その努力をもってしても児童に多大な影響を及ぼす際は、延期、中止の判断をします。

10月6日の判断としては、競技や表現ダンスに支障がない校庭コンディションであれば、保護者の方も日曜日のお休みの方は比較的多いと見え何とか開催したいと思ひ実施しました。短距離走のコースに砂を入れたり、児童席に関しても雑巾で水分を吸収させたりと、できる限りのあらゆる手段を尽くしました。短距離走に関してはすべての学年の競技が始まる前に、全コースの水溜り状況を目視で確認し、砂を入れた箇所を踏み固めながら歩き、ぬかるみ状況を確認していました。レース中もコンディション不良で転倒者が出ないかすべてのレースを見て確認していました。転倒者は数名いましたが、コンディション不良による転倒ではなく、緊張などによる足のもつれであったと思ひています。

しかし「短距離走で何人か転んでいたので、校庭の状態が気になった」「風邪をひいてしまわないか心配」「児童席の足元がぐちゃぐちゃでかわいそう」とのご意見から、児童の健康、安全、精神状況を考慮することも忘れないように心掛けます。

**Q3 児童が椅子を出しての鑑賞に疑問がある。ブルーシートや地べたに体育座りでもよいのでは？(撤収の手間も省けるし、天候の急変にも対応しやすいと思う)**

**A 次年度も児童は椅子を出しての鑑賞とします。**

椅子を出すことによって、衣装や水筒を入れて置くリュックを地べたに置かず、背もたれにかけることができるとは思ひます。こうすることで衣装を脱ぎ着する際、教室に戻る必要はなくなります。撤収の手間を省くより、教室への出入りの手間を省くことを優先します。

**Q4 近隣の幼稚園と日程が重なっており、地域の子育てという面においてどこに訴えればよいかと考えてしまふ。**

**A 近隣の幼稚園、保育園との日程調整は行いません。**

本校に入学してくる近隣の幼稚園、保育園(本校児童と兄弟関係のある幼稚園、保育園)は少なくとも5つあり、すべてと日程調整すること自体大変手間がかかり難しいです。また仮に日程調整できたとして、スポーツの実施日を変更すると他の様々な行事予定に影響が出て児童や教職員に大きな負荷がかかってしまいます。

例 スポーツの日の練習と音楽会の練習を同時に行う週が発生してしまう。

本校HP 「スクールライフ」「学校だより」「令和5年度」「1月号」「Q2のA」もご参照ください。

**Q5 例年の3連休の日から、1週早くしたのはなぜか？**

**他校では11月に行っていることもあるので、11月に開催してもよいのでは？**

**A 年間を見通した様々な行事や学習の配列計画を考えたからです。次年度は10月中旬と考えています。**

児童のモチベーションや体力への配慮、また教職員の準備を最優先に考えています。

**Q6 順延の場合、お弁当なしの日程にしていただけると保護者はありがたい。**

**A 順延の場合、お弁当なしはできません。**

順延の場合、教育課程を変更すること(5校時授業が4校時授業に変更)は認められておりません。

**Q7 午前中で終了するなら、閉会式後、弁当なしで下校してほしい。**

**(祖父、祖母が来ているので、習い事があるので)**

**A 次年度も午前中までスポーツの日を行い、5校時は振り返りの時間とします。しかし各ご家庭の事情がある方は事前に担任までお知らせいただき、保護者同伴のもと早退していただければと思います。**

スポーツの日の終了後の5校時、振り返りで学級や学年の絆を深めたり、個々に日記や作文を書いたりすることは教育的に意義があり、授業時数として扱うのにふさわしい時間と考えます。

ただし、祖父、祖母が来ている、習い事があるといった各ご家庭の事情を聞き入れないということではありません。今年度も各ご家庭の事情で早退や欠席するご家庭がございました。

本校HP 「スクールライフ」「学校だより」「令和5年度」「1月号」「Q3のA」もご参照ください。

**Q8 お弁当を保護者と一緒に食べさせてほしい。**

**A 保護者と児童と一緒に弁当を食べる時間は設けません。**

様々な事情で、それが叶わないご家庭もあります。そのご家庭や児童に配慮したいからです。

本校HP 「スクールライフ」「学校だより」「令和5年度」「1月号」「Q4のA」もご参照ください。

**Q9 保護者と一緒に弁当を食べないのなら、子供たち同士で机を合わせて班で食べさせてほしい。給食の時間も班で食べさせてほしい。**

**A 次年度のスポーツの日では、班で食べることにします。通常の給食の時間は班にはせず、児童一人一人が教室前方を向いてしっかり食べることを継続します。**

給食の時間は、栄養バランスのことが考えぬかれたメニューをなるべく残さず食べることに集中してほしいと考えています。給食の時間は45分間ありますが、当番が準備をする時間を差し引くと食べる時間は25～30分間でゆとりある時間とは言えません。この短い時間で、班にしたことによる友達のおしゃべり時間があると、食べること自体の時間がさらに短くなり、その結果必要なカロリーや栄養を取ることができない、苦手なものでも一口は食べることをやめてしまうといった本来の給食指導のねらいから外れてしまう時間になると考えます。3年前のコロナ禍では、東京都のほとんどの小学校が班で食べることはしない完全黙食となりましたが、残滓率が減ったというデータもあります。本校の残滓率は一日平均20kgで、児童数の割には多い状況ですので、フードロスを改善していく意味でもコロナ禍で学んだことを生かして児童の健やかな発達に取り組んで参ります。

スポーツの日、社会科見学、遠足などの行事の際は、お子様が大好きで比較的食がすすむようなお弁当となっていると思いますので、班で食べることにします。ただし、公共施設に出かけ、迷惑になるような声でおしゃべりをし、指導したにも関わらず、改善されない場合はこの限りではありません。

**Q10 係活動の様子を撮影する際、前の方へでるときは競技する学年の保護者ではないので気まづい。**

**A 係活動の様子を撮影するところまで、配慮することはできません。**

お子様の様子を撮影したいというお気持ちは分かるのですが、学校の使命は、保護者にお子様の様子を撮影していただくこととは考えていません。お子様の様子を、保護者の眼で観ていただき、ご家庭で成果や課題を話し合った上で、今後の糧にさせていただくことと考えています。

**Q11 音響設備を充実させてほしい。音割れ、音とびがひどいと感じた。**

**A 予算の関係で次年度に改善できない可能性もあります。**

今年度、校舎内を司る放送設備が壊れてしまい、何とか復旧できました。しかし家庭科準備室の雨漏りは改善されていません。限りある予算の中、日々の教育活動で児童が困らないことを優先していきますので、後回しになる可能性があります。

**Q12 1年生は前半で出番が終わり、集中力がきれてしまう。**

**A 次年度はプログラム5番、1年生短距離走とプログラム7番、6年生短距離走を入れ替えられないか検討します。**

**Q13 スポーツの日というネーミングは、祝日名と重なるので変えた方がよい。**

**A 次年度もこのネーミングを進めさせていただきます。**

運動会とは違う意味合いということで、3年間このネーミングで行い、浸透してきていますし、「本町小 スポーツの日」と「本町小」を前に付けることで祝日とは違うと認識できると思います。

**Q14 職員室ベランダのプログラムを学年リボンの色で装飾すると、当該学年であることが分かりやすい。**

**A 次年度は取り入れていきます。視覚的に分かりやすくすることは大変有効であると思います。**

**Q15 未就学児のリボンは必要ない。リボンの意味をあまり理解していない保護者が一部いた。**

**A 次年度は、未就学児のリボンは必要ないとリボン配布の便りで記載していきます。**

リボンの意味を理解していくためにも、この取組を継続していきます。

**Q16 受付で名前のチェックがなく防犯対策の強化ができるのか疑問である。**

**A 次年度も校舎外で行う行事に関しては、受付で名前のチェックは行いません。**

校舎外で行う行事の場合、天候（雨、風）によって受付名簿が破損、紛失することが予測されるので、来賓などの一部の受付名簿だけを置くことにしています。防犯対策としてはリボンの装着で不審者ではないと識別しています。

**Q17 プログラムに出口は北門とも書いてあったが、進行途中北門は開いていなかった。**

**A 次年度は、北門は出口とはせず、入り口、出口ともに西門のみとし、お便りやプログラムにもその旨記載します。**

**Q18 例年とは違い、以下のお便りが出ておらず困った。**

- ・プログラム保護者用…参観が不便。
- ・本町小スポーツの日のご案内…雨天時の日程が9月27日まで分からず困った。
- ・本町小スポーツの日の会場について…短距離走のゴール位置が不明。

**A 次年度は漏れることがないように、また保護者が困らない期日に合わせてお便りを発行します。**

昨年度と比較して明らかに2つのお便りと保護者用のプログラムが発行されていないことが判明しました。配布物リストを作成し、次年度の担当へと引継いでいきます。

**Q19 2年生と5年生に配布された配置図が上下逆さになっていたのでも少し混乱した。2年生は朝礼台が上で、5年生は朝礼台が下。6学年で統一してほしい。**

**A 次年度は、6学年で向きが統一された配置図を配布します。地図は北が上になりますので、朝礼台が上となる配置図にします。**

**Q20 来賓席に空席があり、保護者が見ることができないのなら来賓席を縮小してほしい。**

**A 次年度も来賓席の縮小はできません。**

来賓として招待状を送っている方々は、市長、教育長、教育委員会事務局の方々、民生児童委員、主任児童委員、世話人会役員（今年度は会長、副会長でしたが次年度からは書記、会計も含む）、学校運営協議会委員、避難所運営委員、昨年度異動となった教職員などであり、その数は約30名です。ご招待した方は一堂に会することもあるため、市内や都内のほとんどの小学校では、本部席と合わせた来賓席で一つのテントを用意し、対応しています。特に今年度は市長、教育長が来校すると伺っていましたが、順延した結果、市内の行事と重なり市長は来校されず、教育長のみの来校となりました。学校としては、ご招待した方に誠意をもって対応する意味がありますので、来賓席を縮小してしまい、席が不足するといった状況は作りたくありません。

保護者の方におかれましては、来賓席がある、なしとは関係なく、校庭で行う行事に関しては、基本的に立ち見となることをご理解していただきたいと思います。

**Q21 高齢者とお身体の不自由な方や妊娠されている方など、席を別に設置してほしい。プライオリティシートの設置場所を移動してほしい。（短距離走のゴールとかぶっている）表現で児童の配列がプライオリティシート席の目の前でビデオ撮影の際困った。**

**A 次年度も高齢者とお身体の不自由な方や妊娠されている方など、席を別にすることはできません。またプライオリティシートの設置場所も変更しません。**

校庭のスペースやテントの数の問題から、席を増やすことができないためです。短距離走のゴールとかぶっているからプライオリティシートを移動してほしいとありましたが、ゴール前だからこそプライオリティシートをそこに設置しています。プライオリティシートを必要としない保護者の方には、ゴール正面を当該学年優先参観場所としていますので、お子様と関係のあるすべての保護者や親族の方にゴール付近で参観する機会を平等にしていると考えています。

また表現で児童の配列がプライオリティシート席の目の前でビデオ撮影の際困ったとありましたが、

プライオリティシートをどこに移動しても、同じ問題が発生します。事前に学校から配布される全体配置図、学年から発行される表現の配置図をご覧になり、お子様を正面から参観するのではなく、斜めから参観することをご了承ください。お子様の様子を正面から撮影したいというお気持ちは分かるのですが、学校の使命は、保護者にお子様様子を撮影していただくこととは考えていません。お子様の様子を、保護者の眼で観ていただき、ご家庭で成果や課題を話し合った上で、今後の糧にさせていただくことと考えています。本校 HP 「スクールライフ」「学校だより」「令和5年度」「1月号」「Q10, 11、12のA」もご参照ください。

**Q22** **プライオリティシートに関しては入れ替え制のおかげでよく見えたが、最前列の席だけ入れ替え制とし、その案内表示を席に貼っておくとよい。入れ替え制のないプライオリティシートを設けたらよい。入れ替え制を次年度も継続するならば、立ったり座ったりすることが困難な方は参観をご遠慮くださいと前もってアナウンスすべきである。入れ替え制で高齢者が立ったり座ったりが大変そうに感じた。**

**A** **次年度も、プライオリティシートに関しては入れ替え制を継続します。入れ替え制のないプライオリティシートを設けることはできません。**

競技や演目が終わったら一度席から離れていただき、入れ替えした後、次の競技や演目が始まった際、空席がある場合は、当該学年のリボンを身に付けていなくても座ることができるようにします。限りあるスペースやテントの数の中で、お子様に関係する当該学年の競技や演目だけは、すべての方々にとって平等に観ていただく機会を設けるといった趣旨で運営しております。立ったり座ったりが大変であることは、こちらも重々承知で、当該学年の競技や演目以外のときは、せめてもの思いで、体育館を休憩場所として開放させていただき、苦肉の策で運営しています。だからこそ、今年度の学校だより10月号や昨年度の学校だより1月号で重ねて説明申し上げます。立ったり座ったりすることが困難な方は参観をご遠慮くださいなど、全く考えていません。しかし、立ったり座ったりが困難な方と一緒に来校された保護者の方は、当該学年の競技や演目が終わりましたら体育館へ誘導していただく、当該学年の競技や演目が始まる少し前には、体育館からプライオリティシートへと誘導していただくことのご協力が必要であることはご了承ください。本校 HP 「スクールライフ」「学校だより」「令和5年度」「1月号」「Q10, 11のA」、「令和6年」「10月号」もご参照ください。

**Q23** **赤白に分かれてチームを応援できるようにしたらよい。子供たちは自分の出番がないと無関心で、保護者の応援も声が小さくなる。1年生で憧れていた応援団の姿があったが、その後、実現することなく終わったことが残念である。得点制にすると盛り上がる。綱引き、大玉おくり、騎馬戦などの団体競技が見たい。得点制ではないため保護者が自分の子供の出番が終わると帰宅される姿を見て寂しく思う。児童も他の学年の児童の応援に力を入れていない。争うことをせず、団結する心地よさを学ばない子供たちの未来に不安を感じる。勝負は教育的にも必要である。全学年1ルーがあると思えばある。1ルーでは朝練が大変だから代表選手として出たくない子供もいるようなので、子供にとって負担なのは？ 保護者1ルーを新設してほしい。**

**A** **次年度は、追加競技として全校児童による大玉送りを行います。そして短距離走、高学年選抜1ルー、大玉送りからなる得点制とし赤白対抗戦を行います。ただし、応援団、学年による団体競技や1ルー、保護者競技は行いません。今年度同様、表現運動、短距離走も行います。高学年は選抜1ルーも行う予定ですが、子供にとって朝練の負担感が強いのであれば、走力だけに捉われず意欲の高い児童を選出する、または選抜1ルーそのものを無理に行わない選択肢も検討します。**

まず、本校 HP 「スクールライフ」「学校だより」「令和5年度」「1月号」「Q1のA」をご参照ください。イベント的に盛り上がる運動会は魅力があることは重々承知しています。でも今まで行われてきた運動会における多くのことは、育成すべき資質・能力が示された学習指導要領に記載されていません。そのような意味合いをもつ運動会に、教員の指導時間を費やしたくありません。なぜなら、文部科学省や教育委員会が示す「ICTを活用した授業実践」、「主体的、対話的深い学びの授業実践」「外国語教育の実践」といった新しい時代の価値観に基づく指導時間を確保しなければいけないからです。

教員の勤務時間外労働の問題は報道でご存知かと思います。本校の教員の勤務時間外労働も同じことが言え、ひと月平均35時間の時間外労働を行っています。(タイムレコーダーを使って教育委員会に毎月報告している)これは計算上、一日当たり1時間30分から2時間の残業を行っていることとなります。こうした状況を改善しなければいけないことは、ご理解ください。

しかし、児童が他の学年、他の児童を応援していない、勝負することは教育的にも必要というご意見から、児童の成長、発達を考え、大玉送りの追加と得点制による赤白対抗戦は行うこととしました。

**Q24 1. 2年生表現で、1年生と一緒に踊ることは理解しているが、2年生にとってはもう少し難しい動きも取り入れられるのでは？ 3. 4年生の表現は児童同士の間隔がせまくダンスが思い切りできていなかった。1. 2年生表現で、クロスラインの隊形は2年生が前になり、1年生が見えにくかった。低中学年の隊形移動や動きは、上空から見ると全体の動きがさらに伝わるが、平地で見ると意識した隊形移動や動きにしていくとさらによい。3. 4年生の表現は移動距離が大きく見失ってしまうこともあったので少し残念だった。**

**A 動きや踊りの難易度については、これからも発達段階に見合った表現を教材研究によって模索していきますが、2つの学年が一緒になって表現する特性上、安心して表現できる難易度になることをご理解ください。児童同士の間隔については、しっかり取るよう改善していきます。隊形移動に関しては、これからも少しでも見栄えが良くなる方法、無理のない移動距離を考えていきます。**

**Q25 表現の踊る向きも前もって教えてほしい。前半は後ろ向きしか見えず残念だった。子供から聞いていたポジションや踊る向きが予想と異なって困った。**

**A 学年からのお便りで、お子様の踊る向きをお子様にご記入させ、それを配布しました。その示し方に間違いがあったと思われるので、次年度はお子様ご担任に矢印の記入を相談する時間を設けます。**

**Q26 5. 6年生の表現の振付が女子のものであって男子がかわいそう。5. 6年生はソーラン節など伝統芸能を毎年固定して演技してもよいのでは？表現の時間がやや長い。**

**A バリエーションの一つとしてソーラン節など伝統芸能を取り入れることを検討します。**

児童が考える振付が女子のものに偏る傾向があるので、民舞や伝統芸能も取り入れることで、その偏りを解消できる可能性があると考えます。これからも児童に負担がなく、且つ、やりがいのある時間配分、また保護者の方が参観するにあたって適切な時間配分を考えていきます。

**Q27** 短距離走ゴール付近は大半の方がゆずりあって使用していたが、一部の方はゴールして座っている子の撮影に夢中になり、困った。

**A** このようなお声があがっていることを知っていただき、お子様がゴールした後のゆずりあいにご理解を賜りたいと思います。

**Q28** 短距離走のスタートとゴール地点がお知らせで記載されてなく、困った。4年生の短距離走の走る順番が自分の子供しか分からなく残念だった。お友達のレースも応援したい。

**A** 次年度は短距離走のスタートとゴール地点が記載されたお便りを配布します。今年度は、それが配布されていませんでした。

次年度は全学年、統一したお便りにして学年すべてのお子様の走る順番が分かるようにします。

ただし、お便りの紛失がないようお気を付けいただき、またスポーツの日終了後はシュレッダーにかけるなどのご対応をお願いします。

**Q29** 短距離走で低学年だけが男女混合になっているが、その意味が分からない。短距離走は同じ速さの人と走りたいと子供が話していた。

**A** 次年度はすべての学年、男女分けて実施とします。また同じくらいの速さの人と走るために、5月末に行う体力テストの50m走のタイムを参考にレースを組んでいきます。

低学年においても短距離走における男女の差はあることが体力テストの結果から分かりました。そのため男女分けて実施とします。

また中学年以上は、スポーツの日が始まる1か月前あたりに本番と同じ距離である80m走や100m走のタイムをとってレースを組んできました。しかしこの方法ですと、あえて力を抜いて走り、本番で1位を取ろうとする児童も多数見受けられることが分かりました。そこで、本番とは距離が違ってしまいましたが、児童が力を抜かない体力テストの50m走のタイムを参考にレースを組んでいきます。

**Q30** 短距離走のアナウンス「よーい」の声が聞こえるようにしていただかないといつ始まったか分からない。短距離走で何人が転んでいたのが、校庭の状態が気になった。

**A** スターターにピンマイクを付けることが必要となりますが、予算の関係上、実現はできません。また短距離走での転倒者は数名いましたが、コンディション不良による転倒ではなく、緊張などによる足のもつれであったと思っています。Q2の回答も合わせてご参照ください。

**Q31** 短距離走でゴールラインと写真撮影の場所の距離が近く、全力で走り抜けられない児童もいたので、短距離走はゴール付近を丸くせず、まっすぐロープを引いた方が撮影しやすい。

**A** 次年度は高学年を95m走、低学年は35m走として、ゴールを短くし、全力で走り抜けられるようにします。短距離走ゴール付近のロープは丸くはしておらず、まっすぐ引いているはずで。

**Q32 短距離走のスターターや出走順掲示も児童がやれば児童が主役という感じがだせる。**

**A 次年度も短距離走のスターターや出走順掲示は教員が行います。**

スタートピストルは雷管を使用しているため、安全性に疑いが生じますし、ファウルがあったときの判定が難しく、スタートピストルを2回打って鳴らすことは難しいからです。出走順掲示についても、確認作業が多く、児童に任せられる役割ではないと考えています。

**Q33 リレーでもう少しバトンの受け渡し練習をすれば、スムーズに走れて子供の力をもっと発揮できた。(右手から右手に子供が多かった) リレーでは朝練が大変だから代表選手として出たくない子供もいるようなので、子供にとって負担なのは？**

**A 次年度もバトンワークが上達するよう指導していきます。**

しかし、リレーの朝練を負担に考えている子供もいるのではというご指摘もありますので、指導の時間をあみだに増やせない状況もあることはご理解ください。メンバーの選出に関しては、走力だけに捉われず意欲の強い児童を選出する、選拔リレーそのものを無理に行わない選択肢も検討します。

**Q34 整理運動の「糸」はリズムに合わせにくそうに見えた。**

**A これからも、整理運動の曲としてふさわしいものを考えていきます。**

**Q35 校長の開閉会式の挨拶で、近隣に向けて「音響でご迷惑を」と2回も触れていた。子供の気持ちとして迷惑なものになってしまうのではないか。「ご理解ご協力に感謝」と前向きな表現でまとめればよいのでは？**

**A 次年度も「音響でご迷惑を」と言葉を発することがあるかと思います。**

実際、スポーツの日が実施される1か月ほど前に近隣の方から、匿名のお手紙をいただきました。「朝の登校時に流れるピアノの曲が校庭に響いて困っているのでボリュームをさげてほしい、また土日のスポーツ校庭開放で大人の声がうるさい、改善しなければ法的手段にできることがある。」との内容が記載されていました。本校の対応としては、朝の登校時に流れるピアノの曲を校庭には流さない、またスポーツ校庭開放会議に管理職が出席して、土日のスポーツ校庭開放において大人の声がうるさいとのクレームがあったこととお知らせしました。正直なところ、お手紙の「改善しなければ法的手段にできることがある。」との記載に関しては、随分、上から目線でものを申されており、本校に対して寄り添う気持ちが感じられるものではないと感じました。しかし、それだけお困りであるということも同時に感じました。そこで相手のことを尊重し、できるだけ寄り添っていく姿勢を見ていただくことが大切であると考え、音響でご迷惑をと言葉を発しました。児童に伝える必要があるとすれば、「本町小の立場からとしては大盛り上がるのスポーツの日、でも近隣といった他者からの立場では音響でご迷惑をお掛けしているスポーツの日と想像し、相手のことを敬う姿勢をもちましょう。」と話します。

**Q36 校長先生が最前列のよい席にずっと座って見ているなら、敬老席(プライオリティシートのことと推測できる)の方に席を譲ってはいかがでしょうか？**

**副校長先生は整理運動の際、背中を丸めて足を組んで座っていた。子供たちや先生はきちんと並んで整理運動をやっているのに、またその副校長先生の姿を後ろで保護者が見ているのに。とても子供たちに心を向けているようには見えなかった。(校長が話すときは立っていたが)**

**各学年の担任の先生は子供たちと一緒によく頑張っていました。2年前に比べ先生たちの笑顔、元氣、活気も減っているような気がします。先生と子供たちが笑顔でいられるよう校長先生、副校長先生に努めていただきたい。**

**A 次年度も校長は最前列に座ります。その席をプライオリティシートとして譲ることはできません。**

**整理運動の際の副校長の態度は、子供たちに心を向けていないという認識を変えていただきたいと思えます。また、その様子を絵にして、アンケート用紙に描いておりましたが、誹謗中傷にあたると思っています。今後はおやめください。**

**「2年前に比べ」という表現は、明らかに前任の校長との比較をされているのだと思ひ、真摯に受け止めます。**

校長が果たす役割としては、全種目が円滑に行われているか見届け、不具合があれば、それを解決する判断をして、組織的に対応させること、また来賓の方々にご挨拶し接待することがあります。そこで、当日、短距離走に関してはスタートが適切に行われているか、コンディション不良で転倒者が出ないかなどを確認するため、すべてのレースを見ていました。表現についても同様で、音響設備の不具合の影響を受けていないかすべて見て確認していました。

また、来賓として教育長が来校されましたので、スポーツの日における本校の特徴や表現の見どころを説明していました。以上の役割を果たすためにも最前列に座る必要があります、そのことは市内都内どの小学校でも行われていると思ひます。

整理運動に関しては、模範となり指導する教員(担任)はコースに立って運動を行い、音楽、放送、救護、進行運営とマネジメントに徹する教員(専科)と管理職は座っていました。まずこの時点で、副校長は整理運動をする必要はないと考えます。その上で副校長は閉会式に備え、朝礼台付近にスタンバイする必要があり、椅子に座っておりましたが、それは保護者の方が整理運動を行う児童を参観するのに邪魔にならないよう配慮してのことでした。だからこそ、背中を丸めて腰をかがめていたのです。足を組んでいたのは、持病の腰痛があり、その姿勢の方が楽だったからです。居眠りでもしているのであれば、子供に対して心が向いていないと批判されても仕方ありませんが、副校長は当日、西門受付での来賓対応、プライオリティシートの管理と入れ替え説明、体育館休憩室の状況把握と走り回っており、子供に対して心が向いていないということは絶対はないと強く訴えたいと思ひます。そして副校長は、校長が話すときは立っていたと記載がありましたが、そうではなく、開閉会式だからこそ、起立をしていたのです。それこそ、校長に心が向いているのではなく、子供に心が向いている証であると思ひます。

# 1月の行事予定

1	水	元旦	17	金	ユニセフ募金、身体計測(1年)、4年ステップアップ
2	木		18	土	
3	金		19	日	
4	土		20	月	B時程、ユニセフ募金、安全指導、クラブ活動、校内書初め展始
5	日		21	火	たてわり班、3~5年5時間授業、ユニセフ募金③、本町っ子タイム⑤
6	月		22	水	B5、薬物乱用防止教室6年?、親子DEなわとびタイム終、ALT
7	火	冬季休業日終	23	木	たてわり班(朝、振り返り)、避難訓練、2・3・5・6年ステップアップ
8	水	C時程4時間授業、始業式、給食なし	24	金	家読、校内書初め展終、市児童作品展始、ふれあい開放
9	木	給食始、身体計測(6年)	25	土	
10	金	3・4年生A時程5時間授業、身体計測(4年)、家読、委員会	26	日	
11	土		27	月	B時程、市児童作品展終
12	日		28	火	パナマ大使館交流、1年ステップアップ
13	月	成人の日	29	水	音楽朝会、ITキッズ出前授業(6年)
14	火	午前授業、全校朝会、身体計測(5年)	30	木	社会科見学(3年)
15	水	B時程、ユニセフ集会(代表委)、身体計測(3年)、親子DEなわとびタイム始	31	金	B時程、ITキッズ出前授業(6年)
16	木	B時程6時間授業、身体計測(2年)、巡回型音楽鑑賞教室			



## 1月の生活目標

### 「あいさつをしよう」「時間を守ろう」

本町小学校では、今年度のはじめから代表委員会や各学年が挨拶を促進する運動を考え、主体的に活動しています。朝の時間に昇降口に立ち、挨拶の言葉をかけたり、挨拶の良い人を表彰したりと自分達で考えた方法で「あいさつの声が響く本町小」を盛り上げています。今月も、教職員も子供たちと一緒にあいさつ溢れる本町小学校を目指します。

「時間を守ろう」では、特に朝の登校時刻や授業の始業時間を守り、日々の学校生活を過ごすことのできるよう指導していきます。ご家庭のご協力もどうぞよろしくお願い致します。

## 1月の安全目標

### 「冬の日の安全な登下校」

寒さが厳しい季節ですが、ポケットに手を入れて歩かないこと、雪や雨の場合は、車がスリップすることも考えられるので、道路の端を通り、安全に気を付けることを特に指導していきます。通学路を守り、安全に登下校できるよう、ご家庭でも言葉掛けください。

## 西東京市児童作品展

1月24日(金)から27日(月)まで、西東京市南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」にて児童作品展が開催されます。各学年の代表者が図工・書写作品を出品します。西東京市内すべての小学校の作品が展示されますので、様々な作品が鑑賞できます。田無方面にお出かけの際は、どうぞお立ち寄り下さい。よろしくお願い致します。

1月24日(金) 17:30~19:00

1月25日(土)、26日(日) 9:10~16:50

1月27日(月) 9:10~13:50

※受付は終了時刻30分前ですので、ご注意ください。

## 書き初め展について

日本の伝統行事、「書き初め」。その起源は古く、平安時代にまでさかのぼります。一年間の抱負や目標を定め、字の上達を祈願する、という意味があるそうです。

低学年は硬筆を用いて、「姿勢、鉛筆の持ち方、集中力」を大切に、お手本をよく見ながら、一字一字に心をこめて、一生懸命練習しました。

中学年・高学年は毛筆を用いて、大きな書き初め用紙に書きました。筆に墨汁をつけ、半紙に向かう緊張感を味わいながら、大きく伸び伸びと書くように努力しました。

**20日から24日まで、席書会で書いた作品を校内に展示します。保護者の方々は期間中、15:30~16:30の時間、校内にお入りいただき、鑑賞していただけます。**全校児童の作品が一斉に展示されることは、同学年の友達だけでなく他学年の人たちの作品を鑑賞し、自分の作品を見直す良い機会となります。保護者の皆様には、是非学校に足を運んでいただき、お子様の成長をご覧くださいませようお願いします。

是非学校に足を運んでいただき、お子様の成長をご覧くださいませようお願いします。

